

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月13日(火)

事務事業		コミュニティバス運行事業		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44312		
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
	中項目	2 交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市コミュニティバス運行に関する協定書						
	小項目	2 公共交通の維持確保と交通安全の推進									
	主要プロジェクト										
事業概要		市内の高齢者や運転免許証を持たない人の市内移動の確保および円滑化を図ることを主な目的に、平成9年7月から試行運行を開始した。また、平成12年より深谷地区で本格運行を開始し、合併後、平成22年に再編した。本事業は、バスの運行事業者に対して、事業費の補助を行っているものである。									
目的 ※何のために		市内の公共交通による移動手段の確保。									
対象 ※誰・何を対象に		主に市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの交通弱者。									
手段 ※どのように		コミュニティバス「くるリン」を市内全域で運行する。									
成果 ※何を求めるか		移動手段のない市内の高齢者など交通弱者が、円滑に移動できる。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(民間事業者)									
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)	
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	コミュニティバス運行事業	93,428,653	
本事業の 主な業務		・コミュニティバス運行業務								・	
		・深谷市地域公共交通会議運営								・	
		・								・	
		・								・	
		・								・	
		・								・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議 運営	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議 運営	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議 計画の策定、深谷市地域 公共交通会議運営			
事業費	予算(現額)	127,418,000	126,218,000	134,031,000	315,140,000		
	決算額	98,329,271	93,428,653	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	180,000,000	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	98,329,271	93,428,653	134,031,000	135,140,000		
人件費	従事職員数(人)	0.74	0.76	0.76	0.76		
	人件費相当試算※	5,743,817	5,980,863	6,229,254	6,229,254		
総事業費試算		104,073,088	99,409,516	140,260,254	321,369,254		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	運行業者への事業費負担額	目標値	百万 円	120.00					
		実績値		91.08					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行経費－運賃収入－国庫補助金収入／運行事業者への支払い実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	運行コース数	目標値	コース	9.00					
		実績値		9.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行コース数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 運行コース数の実績						
	実績値の算出式								
成果指標 2	1日の運行本数	目標値	便	80.00					
		実績値		80.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1日の運行本数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 実際の運行本数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	年間運行日数（くるりん）	目標値	日	359.00					
		実績値		359.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年末年始の6日間を除く毎日 / 実動運行日数						
	実績値の算出式								
成果指標 4	年間利用者数	目標値	千人	151.90					
		実績値		93.59					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H3 1までの値は総合振興計画に基づく。R2以降はコミバス再編計画の値が目標値 / 運行事業者からの報告による						
	実績値の算出式								
成果指標 5	1日あたりの利用者数	目標値	人	423.10					
		実績値		260.60					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		成果指標 4 ÷ 成果指標 3 / 年間利用者数／運行日数						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和4年4月よりデマンドバスの再編を実施し、利用者利便性の向上に資する数点の改善を図ったにも関わらず、市の事業者負担が前年度比で削減となったことからこの評価としたい。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数については伸び悩んではいるものの、前年度比で微増とすることができた。また、デマンドバス再編初年度であったものの、大きな混乱も無く、また、年間を通じ欠便すること無く「くるりん」を運行することができた。
評価者			市街地整備係長 荒谷 匠

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	くるりんは、民間事業者が運行をしているため、一定の効率化は図られているものである。しかしながら、デマンド運行に係る予約手法が電話のみである点等、課題が散見されることから、今後ICT化を図る余地は残されている。
評価者			市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度からデマンド運行便が再編され、利用者が市民限定となる等大きな制度改革が実施された。市としては、まごころ出張講座を開催するほか、その他幅広い手法を活用し、広く市民へ対し、新制度のPRを行い、利用者数の増加を図っていく必要がある。
達成状況及び その効果	デマンドバスの新運行が開始されたものの、くるりん利用ガイドマップの毎戸配布やまごころ出張講座の実施及び啓発YouTube動画の作成するなど、利用者へ丁寧な説明に注力してきたことで、年間を通し大きな混乱も無く、前年度よりも多くの方に利用していただくことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	コミュニティバス運行事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44312
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 都市整備部次長兼都市計画課長 山中 勉					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和5年度は市における公共交通のマスタープランである地域公共交通計画の策定に着手する。計画策定にあたっては、アンケート等により市民ニーズを把握し、地域公共交通会議の開催を通じ、交通事業者や関係者等と協議を重ねていくものとする。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和6年度は定時定路線北部シャトル便の再編に向けた準備を進める。再編にあたっては、運行データの分析を図るとともに、アンケート等により市民ニーズを把握し、観光拠点を含めた地域への効果的な輸送サービスの提供を目指す。

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 2	指標名	1日の運行本数
			
区分	成果指標 4	指標名	年間利用者数
			